



CENTRAL
AICHI SYMPHONY
ORCHESTRA

セントラル愛知交響楽団 定期演奏会



©Hikaru Hoshi

182th

2021.5/14(金)

18:45開演 (17:45開場) 発売日 一般4/7[会員先行 4/5,6]

指揮 / 角田鋼亮(当団常任指揮者)

- J.S.バッハ：音楽の捧げものBWV1079より
「6声のリチェルカーレ」(編曲:ヴェーベルン)
- ヴィラ・ロボス：ブラジル風バッハ第2番
- ブラームス：交響曲第4番ホ短調Op.98

184th

2021.7/16(金)

18:45開演 (17:45開場) 発売日 一般5/26[会員先行 5/24,25]

指揮 / 角田鋼亮(当団常任指揮者)

- J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ
第2番BWV1004より「シャコンヌ」(編曲:ラフ)
- オネゲル：交響曲第4番「バーゼルの喜び」H.191
- シューマン：交響曲第3番変ホ長調Op.97「ライン」

2021.6/11(金)

183th

18:45開演 (17:45開場) 発売日 一般4/21[会員先行 4/19,20]

指揮 / 松村秀明
サクソフォン / 須川展也*

- ヒンデミット：
弦楽と金管のための
協奏音楽Op.50
- グラズノフ：
アルト・サクソフォンと
弦楽オーケストラのための
協奏曲変ホ長調Op.109*
- チャイコフスキー：
交響曲第4番へ短調Op.36



三井住友海上 しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15
(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定 A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円/学生席1,000円 (学生席は座席指定不可
※未就学児入場不可 指定の場合は一般価格の半額 当団事務局のみの取扱い)

チケット取扱い ●セントラル愛知交響楽団(郵送サービス有) ●愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
●しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117 ●チケットぴあ <http://pia.jp/> (WEB受付のみ)

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※当団定期会員・賛助会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能となります。[当団事務局でのみ受付]

定期演奏会プレイベント 会場/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111 入場無料・先着200名
182回 5/12(水) 12:00~13:00 公開リハーサル 183回 6/8(火) 12:00~13:00 公開リハーサル 184回 7/14(水) 12:00~13:00 公開リハーサル
13:15~14:00 公開講座 13:15~14:00 公開講座 13:15~14:00 公開講座

お問い合わせ

チケットの
お申し込み

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからお申し込み頂けます。



主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社
後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM◎AICHI
協賛/三井住友海上・名古屋市美術館
助成/文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

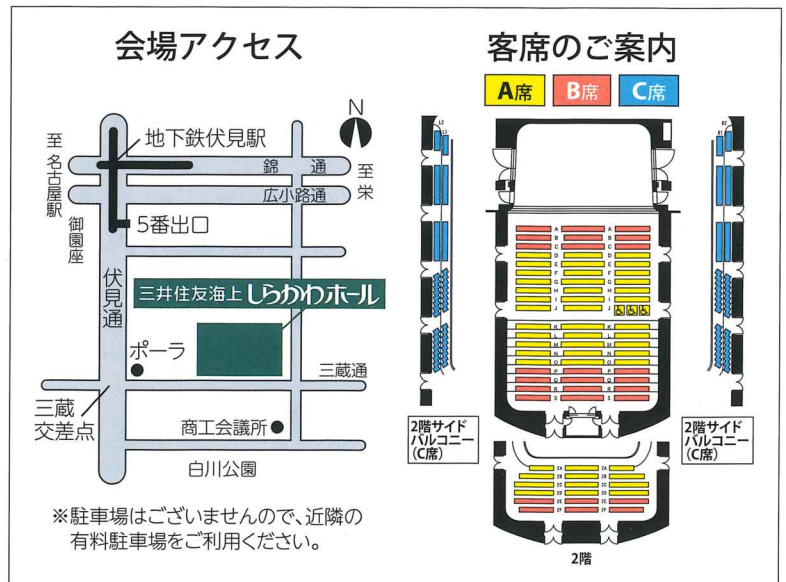
東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕作作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2021-2022シーズンのハイライトとしては、東京フィル「R.シュトラウス:ばらの騎士」、大阪フィル「ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス」、セントラル愛知との「ブラームス:交響曲第4番」「シューマン:交響曲第3番」「ラヴェル:マ・メール・ロフ」があげられる。
<http://kosuketsunoda.com>

慶應義塾大学法学部卒業。大学在学中より洗足学園音楽大学附属指揮研究所にて学び、マスターコースを修了。これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏、ピアノを馬場幸希江、クラリネットを四戸世紀の各氏に師事。2006~2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加、2010年度は新日鉄文化財団により新設された指揮研究員のオーディションに合格し、紀尾井シムフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第3位入賞。これまでにオーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、山形交響楽団、読売日本交響楽団を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ・トレント・ハイデン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、好評を博す。また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。

日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。長きにわたり、チック・コリア、ファジル・サイ、坂本龍一、西村朗、本多俊之、吉松隆、長生淳など名だたる作曲家への委嘱を継続。それらの中には既に楽譜出版がされレパートリーとして国際的に広まっている楽曲が多く含まれており、クラシカル・サクソフォンの領域への貢献は計り知れない。作曲家からの献呈作品も枚挙にいとまがない。N響、都響など国内オーケストラのみならず、BBCフィル、フィルハーモニア管など世界各国の著名オーケストラや、デュワ、A.ギルバートなどの名指揮者たちと共演。ウィーンの大ムジークフェラインをはじめ、世界各地の檜舞台でリサイタルを行なっている。また、これまで30ヶ国以上に招かれ公演やマスタークラスを行っており、管楽器の魅力若く若い世代に伝える活動を精力的に継続している。東京芸術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。出光音楽賞、村松賞を受賞。98年JTのTVCM出演、02年NHK連続テレビ小説「さくら」ではテーマ曲を演奏。これまでに約30枚のCDをリリース。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「パッサ・シークェンス」(令和2年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞)。2014年には自叙伝「サクソフォンは歌う!」を刊行。89-10年まで東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスター、07-20年までヤマハ吹奏楽団常任指揮者を務める。トルヴェール・クワルテットのメンバー、東京藝大招聘教授、京都市立芸大客員教授。使用楽器:ソプラノSax:YSS-875EXG アルトSax:YAS-875EXG(いずれもヤマハ株式会社)
<http://www.sugawasax.com> FB・twitter・Instagram更新中 YouTubeにて「須川展也のSAXTIPS(レッスン動画)」「須川家おうちライブ」公開中

セントラル愛知交響楽団 Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2021年4月公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2021年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

- チケット半券には、ご来場のお客様のお名前とご連絡先を必ずご記入ください。
※感染者が発生した場合、ご来場者様の個人情報が必要に応じて保健所等へ提供しますので、予めご了承ください。個人情報は厳重に管理し、上記目的のみ使用し保存期間経過後は確実に破棄いたします。
- 発熱や体調不良の場合、過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域の在住者で濃厚接触がある場合はご来場をお控えください。
- マスクを着用し、入場時の手指消毒・検温にご協力ください。(37.5℃以上の発熱時は入場をお断りします。)
- 会場内での会話は極力お控えいただき、「ブラボー」などの掛け声はご遠慮ください。
- 終演後は時間差退場にご協力ください。 ■ 出演者への贈り物、面会のご遠慮ください。 ■ クロークはご利用いただけません。
- ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。
- 客席人数の制限を解除しております。再度制限がかかる場合は振替席への移動をお願いする場合があります。

※2021年3月現在の対策です。変更となる場合があります。